

江別市新しい総合計画策定方針(案)への 市民意見募集の結果と市の考え方について

(市民意見募集期間:平成23年8月1日から平成23年8月31日まで)

平成23年9月

江別市企画政策部 政策調整課 総合計画担当

(特記事項)

パブリックコメントの内容については、提出者の意見を出来るだけ正確に表すため、人物を特定できるような固有名詞やご意見以外の記述を除き、可能な限り原文のとおり掲載しております。

通番	方針(案)のページ	項目	ご意見を寄せられた方 1 (50歳代、大麻地区)	ご意見に対する市の考え方
1	-	施策等の提案	<p>交通環境の整備について 特に雪対策。新総合計画などという大それたものではないが、「除雪費不足」という言い訳に終始しないような予算づくりを希望する。 少しでも降雪量が多いと幹線道路以外は全く除雪が入らず通勤・通学に支障を来している。江別市に住んで30年近くになるが、除雪以外は全く不便を感じていない。 高齢化が進む将来を見据えた雪対策を重要課題の一つとして取り組んでもらいたい。</p>	<p>ご意見の雪対策につきましては、江別市の重要な課題の一つと考えております。 この度の市民意見の募集でいただいたご意見につきましては、今後検討してまいります新総合計画の施策等の参考とさせていただきますとともに、関係部署にご意見をお伝えします。</p>

通番	方針(案)のページ	項目	ご意見を寄せられた方 2 (40歳代、江別地区)	ご意見に対する市の考え方
2	-	~	<p>「江別市 新総合計画策定方針」の資料を読んで感じたことが、はたしてごく一部の利権のある人たちだけで決められることの無いよう、市民として強く強く願っています。 正直、この問題は全国どの地域に置いても『まち作り』に携わる人たちの間で長い時間議論されていることであり、その中で大変な苦労を積み重ねながら実行されていて、うまく進んでいる地域もあれば悩み続けている地域がほとんどを占めているのが現状だと思います。 この意見書もそして、実施されるアンケートもたくさんの市民からの声寄せられることを願ってやみませんが…きっとたくさんの声は残念ながら届かないことが容易に想像できます。それはひとえに“無関心”と言う空気を日々感じているからです。江別のために「何かいいことをしよう！」というほんの一握りの人を除き蔓延しているのは“無関心”という空気にほかなりません。 それは、江別市が札幌の『ベットタウン』としての方策にのみ終始してきた結果だと考えます。寝に帰るだけのまちに必要なのは暮らしに不自由がなければいいだけのことです。道路が整備され都市間のアクセスがしやすく、病院や学校、買い物などに不便が無ければベットタウンとしての機能は十分です。 しかし、誰もが暮らしやすく魅力あるまちにしていけるためには、資料にもある産業・保健・医療・福祉・環境・教育(個別計画)をハードとすれば、その全ての根幹に流れている まず、江別出身ではない市長がそのソフト面でどれだけの考えかたをお持ちなのかが疑問として残ります。(他の候補者が居らず無投票当選だったことにも江別市に対する無関心さを感じずにはられませんでした。決して現市長への批判ではありません。) つまり、まち作りの基本は『郷土愛』につきると思います。いくらハードを充実させてもそれは当たり前で「このまちが好きだ」という郷土愛は生まれてきません。大変な災害に見舞われた東北地方で伝統の祭りが行われ、たくさんの観光客や参加者が心から復興と元気を取り戻そうと明るい笑顔で盛り上げています。全ては郷土愛なくしては語れないものです。はたして江別にそんなことが出来るのか…誰が考えてみたところで答えは明白だと思います。 思うことをつらつらと書いてきましたが、一番大切なことはこれからのまち作りに携わる人達の頭の中からきれいさっぱりと“ベットタウン”という言葉そのものを消し去ることで初めて始まると思っています。住む人達が楽しみを求めて市外に出かけていなくても、江別に楽しみを感じる事が出来れば、住人だけでなく市外の人達に対しても“住みたいまち”になっていくと思います。長い時間をかけなければ出来ないことだけど、気付いて始めなければならぬことが山積していると私は考えています。</p>	<p>ご意見のとおり、住民以外の方にも住みたいと思ってもらえるまちづくりは、とても大切なことであると考えております。 この度の市民意見の募集でいただいたご意見につきましては、今後検討してまいります新総合計画の施策等の参考とさせていただきます。</p>

通番	方針(案)のページ	項目	ご意見を寄せられた方 3 (年代不明、江別地区)	ご意見に対する市の考え方
3	3ページ	4 新しい総合計画の考え方	<p>1. 3ページ「(2) 指針としての大局的視点と成果主義へ」に関わって成果主義に走りすぎ、今までの経緯や目標のすりかえにならないように、きをつけてほしいこと。事業の再評価は成果の出る年限をよくみきわめていただきたい。</p>	<p>ご意見の趣旨を踏まえ、新総合計画の策定にあたりましては、目標の設定や事業の評価のあり方などに留意してまいります。</p>
4	-	施策等の提案	<p>2. 具体的な部分になりますが、「誰もが住みやすいというこ」とに関して1ページ</p> <ul style="list-style-type: none"> 江別に住んで20年以上になります。毎年雪が多いのに、除雪体制が札幌より悪い。温泉がわいていて、その廃熱や、排水を利用して融雪溝などの利用はできないものか。除雪業者が少なすぎるのか？ 住宅街への入り口の交差点の除雪がひどく、おなかがつかえて立ち往生する車を多く見ました。また、出入り口が高い雪山で、本通りの車が見えず、鼻先を出すと、本通りの車がぎりぎりにとおるので接触事故の危険を感じます。歩道を歩く人も見えません。積雪がなくても、危険な場合は除排雪を。 <p>3. 福島原発事故のみならず、泊原発の万一の事故について、江別市の緊急体制は整備されているのでしょうか？安心・安全の願いは原発100キロ離れた地域でも市民が不安に感じるところです。100キロ以内の江別はまさに必要なことです。</p> <ul style="list-style-type: none"> 農産物・酪農に関わる放射線の影響をすぐ測定して、対応を考える機関や、学校・保育所・幼稚園など、放射線の影響を心配される子ども達が集まるところの安全性・放射線測定などと、対応を考える機関など、多方面にわたって、指示をどこが発信するのかなど、今からきちんと対策をしておいてほしいこと。必要な情報は開示して、少しでも市民の安心を満たしていただきたいこと。 現在留萌沖の活断層による地震の危険性が高まっていることと、市内を走る活断層の存在もこれにからめて、住宅や学校施設・公共物の耐震化や、その他自然災害に備えて本当に安全安心な街づくりをしていただきたい。 災害時の非常食、特に、食べ物アレルギーのある人たち、子どもやお年寄りにも食べられる非常食も必要です。阪神大震災・東日本大震災時、アレルギー食がないために、体調を悪化させる子どもがたくさんいたこと。 病院や老人介護施設などの非常時の避難や電源確保、必要な移送などに対応できるような対策も事前に準備が必要でしょう。 <p>4. 江別の特産品は安心・安全のうえになりたつものです。</p> <ul style="list-style-type: none"> 災害に強く、安心な食物がある、住みよい町が江別の売りになるのでは？ 蝦夷但馬牛・はるゆたか・無農薬野菜・有精卵などたくさんのおいしい特産品、手作りケチャップなど農家の皆さんが力を合わせて工夫されていると感じます。陶芸や芸術の面でも素晴らしいものがいろいろある江別は、今後予想される老人の増加にもいきがづくりで対応していけるでしょう。青少年のスポーツでの活躍も素晴らしいものがあります。生涯をとおして、楽しめるスポーツも(グリーンボール・パークゴルフなど)あります。 <p>住んでいる地域が放射能汚染の心配のない地域であることが、今は日本中の国民の願いです。江別市としても、泊原発の問題に無関心ではいられないでしょう。北電・道行政への働きかけ(安全性の確保・情報開示・原子力の完全抑制が可能になるまで原発の運転を見合わせる・プルサーマルも延期)をお願いします。(プルトニウムによる事故発生リスクを背負うプルサーマル計画は今回の福島事故よりももっと深刻な被害を子どもに与えてしまう、汚染の度合いが全く違う)</p> <ul style="list-style-type: none"> できれば電力も地産地消が可能になるといいです。風力・温泉熱・川の流れを利用した発電とか。 	<p>除排雪の問題、安心・安全なまちづくり、そして農作物の安全性やスポーツを含めた生涯学習への取り組みにつきましては、それぞれ江別市の重要な課題であると考えております。</p> <p>この度の市民意見の募集でいただいたご意見につきましては、今後検討していきます新総合計画の施策等の参考とさせていただきますとともに、関係部署にご意見をお伝えします。</p>

通番	方針(案)のページ	項目	ご意見を寄せられた方 4 (年代不明、大麻地区)	ご意見に対する市の考え方
5	2ページ	3 総合計画の現状	<p>政策のプライオリティを明らかにし、戦略を明確に示し、成果に基準を置く計画の方向性は是非必要ですが、柔軟性の高い計画づくりとは矛盾するのではないのでしょうか。</p> <p>計画の策定より、実施において柔軟に対応していくことがより必要でないかと考えます。</p> <p>総合計画は市が策定し、推進するものかもしれませんが、市民や民間の協力なくして成果を出すことは難しいので、策定の市民参加だけでなく、市民と民間の協力と協働を方向性の中で明らかにすべきでないのでしょうか。</p>	<p>ご意見のとおり、柔軟性の高い総合計画とするためには、計画の実施段階において対応していく必要があると考えておりますことから、「4 新しい総合計画の考え方(2)指針としての大局的視点と成果主義」のとおり、総合計画では、まちづくりの将来像や実現に向けた政策の方向性及び目指すべき水準を示すにとどめたいと考えております。</p> <p>また、総合計画の推進などについての市民と民間の協力と協働につきましては、策定方針(案)「6 計画策定における市民参加」においてその考え方に基づき記述しております。</p>
6	3ページ	4 新しい総合計画の考え方	<p>戦略的で大局的視点と成果主義を基本にし、具体的な施策展開を個別計画や執行方針にゆだねることは正しいと考えますが、自治基本条例に基づく総合計画は、これらの上位計画として明快に位置づけられ、市民に示されるものでなければならぬと考えます。総合計画の位置付けを明確にした総合計画の策定であるべきと考えます。</p>	<p>ご意見のとおり、総合計画と他の個別計画などとの位置づけについて、今後検討してまいります新総合計画の中で明確にしていきたいと思いますと考えております。</p>
7	7ページ	新しい江別市総合計画のイメージ	<p>計画のイメージはこれだけで見る限り、相当のリテラシーがなければほとんどわからないと思います。これで多くの市民から意見を出せということは難しいと思います。</p> <p>総合計画自体決して市民に関心が高いとはいえないことから、スタートから市民の意見を聞いたというアリバイではなく、わかりやすい周知が必要だったと考えます。今後の総合計画策定市民会議の選考などにおいては、もっとわかりやすいものを示すべきです。</p>	<p>ご意見のとおり、今後、新総合計画策定にあたって市民参加をいただく際にお示しする資料については、より分かりやすいものとして参りたいと考えております。</p>
8	4ページ	6 計画策定における市民参加	<p>総合計画策定市民会議は一つの前進であると評価しますが、市民参加の規模や割合が全く示されていません。これまでの審議会員等の公募では市民委員は極めて少数で、委員に占める割合も多くて20%程度でしかなく、市当局の恣意的な選考が目立ちます。</p> <p>総合計画策定市民会議はできるだけ多数(最低20名)市民の割合が学識経験者や団体代表の2倍以上は必要です。また、会長、副会長、部会長の過半は市民参加者から選ばれるべきです。本当の市民参加の計画づくりになるか試されるものであることを強く認識すべきです。</p> <p>総合計画を諮問する行政審議会、計画推進の外部評価を行っている外部評価委員会の市民公募委員は極めて少数でしかありません。市民参加の総合計画を旗印にするのであれば、団体代表などを大きく削減し、市民公募委員を過半数以上にすべきです。さらに、自治基本条例24条で市民参加において年齢、性別等で差別してはならないということになっているにもかかわらず、市の審議会委員等の選考要項で公募委員を70歳以下に制限していることから、22年度末では、就任時に70歳以上の公募委員は男女共同参画審議会の一人にとどまっています。総合計画の策定にかかる審議会等の市民公募委員の選考においてこのようなことが行われてはなりません。また、いくつかの市民公募員の選考経過と結果について情報公開を求め確認していますが、ほとんどが市当局の恣意的な選考に終始しています。総合計画の策定、推進管理にかかる市民参加においては公正な選考を強く願うものであります。</p>	<p>(仮称)総合計画策定市民会議の委員については、「6 計画策定における市民参加 (1)不特定多数の市民の声の把握」で実施します無作為抽出の市民アンケートの際に委員参加の意向を伺い、希望される方の中から委員をお願いしたいと考えております。</p> <p>このことにより、より幅広い市民参加が図られ、また男女比や各年齢階層の偏りが少なくなることから、市全体に近いご意見が得られるものと考えております。</p> <p>委員の人数については、できるだけ多くの市民の皆様に参加していただきたいことから、有識者等の委員よりも市民委員の割合を多くしたいと考えております。</p>

通番	方針(案)のページ	項目	ご意見を寄せられた方 5 (年代不明、市外)	ご意見に対する市の考え方
9	-	策定方針(案)全般	<p>江別市新総合計画策定方針(案)を通読しました。印象として言葉づかいが硬直しているな、と感じました。例えばP. 2の「上記のような三層構造を基本に…」とか、P. 2「取り組みの手段である事業を固定することは困難なことから…」、またP. 4の「(2)(仮称)みらい戦略」「戦略プロジェクト…」など、いたるところに重ぐるしく、戦いいどむ言葉が見受けられます。お気持ちはわかりますが、もう少し市民の目線に立った表現を工夫された方がいいのではないのでしょうか。また“まちづくり”のテーマがあまりにも抽象的です。「人が輝く共生のまち」とは何を目指しているのか、もう少し具体的であってほしいものです。</p> <p>ちなみに6月16日から私が住んでいる東京都多摩市の「将来都市像」のテーマは“みんなが笑顔、いのちにぎわうまち、多摩”です。どうです？具体的でわかりやすいでしょう。</p>	<p>ご指摘いただいた表現については、できる限り見直し、または説明を追加いたしました。</p> <p>また、市民の皆様への情報提供にあたりましては、資料の内容について、より分かりやすいものとしてまいりたいと考えております。</p> <p>なお、「戦略」という表現につきましては、民間企業における「経営戦略」や、国の「国家戦略室」などで通常で使用されており、より積極的に、重点的に施策を押し進める意味で使用しています。</p>

通番	方針(案)のページ	項目	ご意見を寄せられた方 6 (年代不明、江別地区)	ご意見に対する市の考え方
10	-	施策等の提案	<p>豊幌地区にアウトレットモールを 北広島市に誕生したアウトレットモールは連日賑わいをみせています。この成功例を踏まえて、私は豊幌地区にアウトレットモールの建設を提案します。</p> <p>現在、豊幌地区は商店が少なく活気がありません。そこで、国道12号線沿いに面するようなストリートアウトレットモールを提案します。JR豊幌駅からも近く、岩見沢方面からもアクセスが良いと思います。</p> <p>また、江別市には大学が多く若者が多いわりにファッションに関する洋服や雑貨の店がありません。ほとんどの人は札幌へ買い出しに行っているのではないのでしょうか？そして、このアウトレットモールを拠点にして他業種の企業・商店を誘致できるのではないかと私は考えます。</p>	<p>この度の市民意見の募集でいただいたアウトレットモールのご意見につきましては、今後検討していきます新総合計画の施策等の参考とさせていただきますとともに、関係部署にご意見をお伝えします。</p>

通番	方針(案)のページ	項目	ご意見を寄せられた方 7 (60歳代、野幌地区)	ご意見に対する市の考え方
11	-	策定方針(案)全般	<p>1、長期的な総合計画の策定は大切なことで、そのための方針は推進のために必要なものと思います。反面、市長の公約・議員の公約等の政治家として選ばれている方々の考え方との整合性はどのような形で調整されるものなのか。特に市長の市の将来像をどのように考えて市制に臨んでいるのか。これらと切り離して総合計画を策定することはいかなるものでしょうか。</p>	<p>市長の方針については、この度の策定方針(案)に反映されているほか、今後設置を予定している市役所内における新総合計画の検討会議でも反映してまいります。また、新総合計画の検討の節目ごとに議会へ報告を行い、ご意見を伺いながら策定を進めてまいります。</p>
12	-	職員の意識改革	<p>2、地域主権とは、地域の自治体が国や道に頼らず、影響を受けずに自主的に地域の特性を活かして推進するものであり、このことは市民が主体的になるということではないか。</p> <p>3、それは強いては、役場から出てきた計画案に市民の声を聞くと言う形ではなく、議員や市民からの意見及び提案を役場が選定して実施するという事です。</p> <p>4、よって、今回の新総合計画策定方針の中に大切なポイントが欠落しております。それは、現在の役場の体質の検証する項目であります。</p> <p>5、例えば、幾ら市民参加の計画案を策定しても、その実施内容の役場の対応が形骸化してしまえばどんなにりっぱな計画を策定しても、ほんの一部の市民らしき人に聞いたことにして、これが民意の反映との解釈になってしまいます。</p> <p>6、審議会や公聴会・及び各種の説明会において、真剣に市民の声を聞く耳をもった対応でなければ、決して市民参加とはいえない推進状態になってしまいます。</p> <p>7、このことは、役所の方々にとっては、極めて面倒かつ調整が難しい仕事であるだけに、幾ら言葉だけ明記しても、実際の推進内容の質的な面は民意の反映には程遠いものになってしまいます。</p> <p>8、現在の役所の皆さんの意識改革がなければ、簡単に市民参加が軌道にのるものではありません。そのために、役所における職員皆様方の意識と事業計画の推進の進め方、精神的要素を見直すことから始めなければならないものと考えます。これが一番難しく困難なことであることを強く認識されるところから始めていただきたくそのための項目が是非追加されますことを強く望みます。</p> <p>9、組織体において、その活動計画もさることながら、組織員(役所の職員)の推進能力・意欲・そして市民の声を真摯に受け止める柔軟な姿勢が欠かせません。民間企業においては、社員の教育に熱心に取り組んでおります。組織は一旦できると組織自体が自己防衛をして組織が肥大化する傾向になるものです。役所においては特に組織の活性化に重点をおく必要性があるものと考えます。その意味において是非、総合的長期計画の策定の基本的要素として職員の活性化に取り組んでいただきたいと願います。</p>	<p>今回の総合計画の策定にあたっては、策定方針(案)にあります市民アンケート、各界各層などとの意見交換、(仮称)総合計画策定市民会議、パブリックコメント(市民意見募集)など、江別市自治基本条例の理念に沿って、様々な市民参加の機会を設けて進めてまいります。また、新総合計画の策定にあたり、いただいたご意見の趣旨につきましては、できる限り対応してまいりたいと考えております。なお、市職員の意識改革については、ご意見を踏まえて、策定方針(案)に追加しました。</p>

通番	方針(案)のページ	項目	ご意見を寄せられた方 8 (60歳代、野幌地区)	ご意見に対する市の考え方
13	4ページ	6 計画策定における市民参加	<p>1. 前回(10年前)は計画策定に関して事前に市民意見の聴取が行われなかったが、今回は平成21年に制定された「江別市自治基本条例」に則って、計画の策定方針設定の段階から市民意見を聴取しようとする方向に変わり、この点は評価される。</p> <p>2. 一方、総合計画策定にあたっては、①計画の内容と、②策定にあたっての関係者、特に行政当局の姿勢が問題となるが、今回は①については聴取対象となっていないので、ここでは②について意見を述べることにする。</p> <p>3. 今回の意見募集にあたっては、市当局の姿勢に疑問を感じる。それは以下の理由による。</p> <p>(1) 意見募集の事前告知の問題 本件に関する事前の広報活動が不十分である。従って、市民は突然意見を求められても唐突な感じがある。</p> <p>(2) 意見開陳の期間が十分でない。 向こう10年間に亘る長期的な計画を策定するというのに、僅か一か月間(8月一杯)というのは余りにも短すぎる。これでは市民が事前に話しあって建設的な意見を述べることができない。言わば「思い付き的な意見」しかいえないことになる。</p>	<p>この度の策定方針(案)に対する市民意見の募集にあたっては、「広報えべつ」や市のホームページで広くお知らせしているところです。</p> <p>その募集期間については、他のパブリックコメント(市民意見募集)と同じく1か月としているところです。</p> <p>新総合計画は平成25年度の策定を予定しておりますので、それまで様々な段階で市民の皆様のご意見を伺ってまいります。</p>
14	4ページ	6 計画策定における市民参加	<p>(3) 自治基本条例を承けて文中に何度も「市民参加」の文字が見えるが、市当局に本当に民意を汲み上げる姿勢があるのか疑問である。それは、前(2)項の意見募集の期間問題に加え、説明文中に現れる「考えます」とか「…します」といった表現に見られる。一体誰が主役なのか疑問を抱かせる。勘ぐれば既に総合計画の策定にあたっては関係者の間で既に事前調整が行われたのではないかといった感じがする。一体「誰が」考え、「誰が」…するというのか。主役は市民ではないのか。</p>	<p>ご意見のとおり、自治基本条例の理念に沿って市民の皆様と一緒に考えて計画づくりを進めてまいります。</p>
15	-	策定方針(案)全般	<p>4. 今後の進め方に関する提言</p> <p>(1) 今回は策定方針に関する意見募集であるから致し方ないが、次回以降計画の中身について意見募集をする場合、当然のこととして10年前に策定された「現計画の評価」を客観的に示して頂きたい。それは、第三者機関や市議会の場で評価されるべきである。</p>	<p>現在の第5次総合計画については、毎年度、施策達成状況報告書を取りまとめて議会へ報告し、市民の皆様へ公表しております。</p> <p>また、昨年度より公募委員と有識者委員による行政評価外部評価委員会を設置し、総合計画の施策体系に基づき市役所で行った行政評価に対して評価をいただいております。</p>
16	4ページ	6 計画策定における市民参加	<p>(2) 「総合計画策定市民会議」の編成に際しては「無作為抽出」による市民の選定だけでは不十分である。無作為抽出方式は特定の市民に偏らない利点があるが、反面各人の意識の高低に関係なく選ばれる可能性があり、「市民会議」の本来の趣旨を全う出来ない恐れもある。従って、望ましくは①無作為抽出による人数を50%、②市民の中から意見開陳を希望する人の中から公平に審査して選ばれた人50%とすべきである。</p>	<p>今後予定している(仮称)総合計画策定市民会議の委員については、「6 計画策定における市民参加(1)不特定多数の市民の声の把握」で実施します無作為抽出の市民アンケートの際に委員参加の意向を伺い、希望される方から委員をお願いしたいと考えております。</p> <p>このことにより、より幅広い市民参加が図られ、また男女比や各年齢階層の偏りが少なくなることから、市全体に近いご意見が得られるものと考えております。</p> <p>今後設置を予定している行政審議会につきましては、専門的な知見からご意見をいただく予定です。</p>

17	-	6 計画策定における市民参加	(3) 「情報公開の原則」に関しては、これまでの経験上江別市の閉鎖性は大きい問題があるので、今後は「可能な限り原則全部公開」の方針を貫いて頂きたい。	ご意見のとおり、可能な限り原則全部公開の方針で考えております。
18	4ページ	6 計画策定における市民参加	(4) 「審議会」では真の意味で審議して頂きたい。言わば、「行政機関の隠れ蓑」的運用は絶対に避けて頂きたい。	今後設置を予定している行政審議会につきましては、専門的な知見からご意見をいただく予定です。
19	4ページ	6 計画策定における市民参加	(5) 議会へは「経過報告」ではなく、今次計画の策定に当たっては議会の意向を十分に反映させて頂きたい。議員は市民の代理人であり、市の将来を決めるのは市民であるという当然の原則を貫いて頂きたい。従来の議会運営を見ていると過度の形式主義に陥っていることが明らかであり、本当の意味での議員による審議を行うべきである。	新総合計画の検討の節目ごとに議会へ報告を行い、ご意見を伺いながら策定を進めてまいります。

通番	方針(案)のページ	項目	ご意見を寄せられた方 9 (年代不明、江別地区)	ご意見に対する市の考え方
20	-	施策等の提案	<p>安住の地を江別に求め、生活してみると、江別地区の商業地区の空洞化が強く感じられます。</p> <p>江別市の居住地域は、大麻、野幌、江別地区に集中しており、その均衡ある発展が「まち」づくりの基本となると思います。</p> <p>人口の伸び悩みから、これからの飛躍的な発展が望まれない状態かもしれませんが、札幌市の隣接市として居住環境を整え、住みやすいまちづくりにつとめることでまだ発展の可能性を持っていると思います。(道内を10箇所転住してみて、札幌市、周辺市町村は他地域からみて、住んでみたい地域であると思います。)</p> <p>総合計画策定にあたり、江別地区の住環境を整え、更なる発展を目指すことが江別市全体の均衡ある発展、まちづくりに必要ではないでしょうか。</p> <p>1 駅周辺の活性化 毎日、江別駅は相当多数の乗降客が利用しているが、駅周辺の商業施設が無いため、利用者にとって単なる「通過駅」になっている。駅周辺の活性化が江別地区の活性化に欠かせないと思います。 *バスターミナルの設置 *江別駅の改築(上江別との連絡路の設置)(JR社有地の活用)、コンビニ誘致。</p> <p>2 江別市街地の活性化 再開発は財政的にも行政では困難かもしれませんが、何とか民間のデベロッパー等により市街地を周辺住民の住環境向上のため、再開発できないか? 千歳川周辺を整備できないか?(防災ST周辺、階段+ホール設置、ウォーターフロントとして)</p> <p>3 江別市街地~上江別地域の交通について 上江別~江別地区の交通にとって、踏み切りの存在が支障になっている。解消をはかれないか? JR高架ができないのであれば、今後、上江別地域の発展、高層化を見越し、対策を。</p> <p>4 その他 やきもの市について 例年かなりの多数の方が集まってきています。そのまま、それだけで帰っていくよりイベントを併せたほうが集客が相互に見込まれるのでは。(商工会との連携) *やきもの市の客層を考え、フォークジャンボー等の開催(場所 防災ST ウォーターフロント等)</p> <p>以上思いつくまでには書きましたが、江別に帰ってきて、江別は道内他の地域に比べて、より魅力がある市だと思います。江別全体の活性化に向けて積極的に斬新な計画を市民、議会に提案されることをお願いします。</p>	<p>ご意見のとおり、札幌市の隣接市としての利点を最大限に活かして今後の住みよいまちづくりを進めていくことで、江別市はさらなる可能性を秘めていると考えております。</p> <p>この度の市民意見の募集で江別地区の活性化に関していただいたご意見につきましては、今後検討していきます新総合計画の施策等の参考とさせていただきますとともに、関係部署にご意見をお伝えします。</p>

通番	方針(案)のページ	項目	ご意見を寄せられた方 10 (50歳代、大麻地区)	ご意見に対する市の考え方
21	3ページ	3 新しい総合計画の考え方	<p>新しい総合計画は戦略性を重視したものと提案されていますが、その意味するところがよく分かりません。自治体間競争に対する戦略なのか、江別のまちづくりをよりダイナミックにするための戦略なのか、これらとは違うものを意図しているのかが読みとれません。自治体間競争に対する戦略を意図しているのであれば、どのようなことを競うつもりが分かりませんが、望ましい計画策定方針の考え方とは言い難いと思います。検討してください。</p>	<p>自治体間競争という時代背景はありますが、今回の策定方針(案)でお示ししている戦略性につきましては、選択と集中の観点から限りある資源を効率的・効果的に活用して重点的に取り組む姿勢について戦略性が必要と考えているところです。</p>
22	3ページ	3 新しい総合計画の考え方	<p>また、新総合計画では政策の方向性及び目指すべき水準を示すに止めるとのことですが、そのような漠然とした計画では目指すべきことがわかりにくく、計画の存在の意味がありません。これまでの計画とその成果及びそれについての市としての評価を示し、今後目指すべきまちづくりの主な指針を決めて提示すべきと考えます。その上で、具体的な施策を展開できるように個別計画を策定するべきと考えます。</p>	<p>先行き不透明な社会経済情勢や厳しい財政状況、さらに国の政策の方向性も不透明なことなどから、10年先を見据えた総合計画に今後取り組んでいく事業を記載することは困難と考えており、このため、新総合計画は、まちづくりの将来像やその実現に向けた政策の方向性を示す指針として、その達成状況については施策ごとに設定する指標によって管理していきたいと考えております。</p> <p>また、現在の第5次総合計画については、毎年度、施策達成状況報告書を取りまとめて市民の皆様へ公表しているほか、昨年度より公募委員と有識者委員による行政評価外部評価委員会を設置し、総合計画の施策体系に基づき市役所で行った行政評価に対して評価をいただいておりますので、こうした評価結果をお示ししながら、今後の指針となる新総合計画の策定作業を進めてまいります。</p>
23	4ページ	6 計画策定における市民参加	<p>新総合計画策定にあたり、市民参加をすすめる予定であることは望ましいことと思えます。その参加のあり方に様々な配慮と工夫が求められますが、そこで出される意見等が計画作りや評価に活かされるようにしていくことは市民参加意欲を醸成するものと考えます。計画策定における市民参加に関して、市民の声を把握するための市民アンケート実施の際には、年代・性別・居住地域や年数・世帯構成などがバランスよく反映されるようにすると良いと思います。「(仮称)総合計画策定市民会議」を構成する市民は無作為に抽出するようですが、こちらでも会議のメンバー構成に同様の考え方を取り入れること、また、会議に参加する市民が検討すべきことを認識して自分の意見を述べられるように必要な情報をわかりやすく提供することが大切です。市民にパブコメを求める際にも、わかりやすく情報を提供し、意見を出しやすくすることが多くの市民の関心を引き出すことになると思います。</p>	<p>ご意見のとおり、市民アンケートの無作為抽出にあたっては、性別、世代、居住地域などのバランスを考慮して実施したいと考えております。</p> <p>(仮称)総合計画策定市民会議については、市民アンケートの際に委員参加の意向を伺い、希望される方の中から委員をお願いしたいと考えておりますので、こちらについても同様の考えで実施したいと考えております。</p> <p>また、市民の皆様への情報提供にあたりましては、資料の内容について、より分かりやすいものとしてまいりたいと考えております。</p>
24	3ページ	5 新しい総合計画の構造イメージ	<p>今回の計画策定方針案で、組織横断的な(仮称)みらい戦略を導入していくことが提示されていることは良いと思います。これがよく機能するには、少なくとも関係する縦の組織が全体像をしっかりと把握し、そのテーマ実現に向けて各組織における役割を遂行し、時には他の組織と柔軟に調整を図りながら責任を持って計画を推進していけるようにすることが求められると考えます。</p>	<p>ご意見のとおり、(仮称)みらい戦略の推進にあたっては、組織横断的に取り組むことが必要となりますので、市役所の組織が横の連携をこれまで以上に密に行い、職員一人ひとりが自覚と責任をもって取り組んでまいりたいと考えております。</p>

通番	方針(案)のページ	項目	ご意見を寄せられた方 11 (年代不明、野幌地区)	ご意見に対する市の考え方
25	5ページ	6 計画策定における市民参加	<p>1. 総合計画とはについて 「新しい総合計画の策定にあたっての考え方(策定方針(案))」について、市民の意見を募集とありますが、資料P-7の「基本構想」「基本計画」「実施計画」には政策7本、施策31本、基本事業100本など具体的な数字が出されており、これらは既成事実化したものかと思われ、今回も一応(案)と括弧書きにしているものの形式的な意見募集にすぎず、果たしてどれだけ市民意見を反映した中身になるのか?結局変更されないまま単に()を外すだけで済ませるのではないかという思いがあります。</p> <p>しかし、今回の意見書募集の前提には、「江別市自治基本条例」が掲げられています。ようやく制定されてこの条例が、時流で他都市にならって一応江別市も作り出したといった形式的なものではなく、「住民自治の基本条例」として今後江別市の将来に大きな影響力を持つことを、もっと時間を掛けて多くの市民に広く知らせることから始めるべきです。当然今回の意見募集も情報を共有しながら考えることの重要性を理解した上で実施されるものでなければならなかったと考えます。</p> <p>意見募集期間がわずか1ヶ月では短すぎると思います。 26年から今後10年間の長期計画であれば、「広報」やホームページだけでなく、もっと時間的余裕を持って、積極的に各地域市民に呼びかけ一般市民の「生の声」を聴く、あるいは「出前講座」等も働きかける努力をすべきです。</p> <p>過去の意見募集にあったように、集まった意見数は発表してもそれぞれの内容は行政側で分類され、質問や反対意見に対する江別市の見解は、殆どが過去の一般的な説明と重複するものであり、意見書の内容を真摯に受け止めているとは思えませんでした。要するに江別市が、意見書よりもその他の市民は「不特定多数の賛成の声」であるかのように印象付けてしまうことは問題であり、本来の意見募集の目的を果たしたことにもならないと考えます。(三好市長は、過去二回共選挙を経ずに市長に就任されましたが、その後の挨拶で、「多くの市民のご支援をいただき…」と広報で述べたことと同類ではないかと思えます。)</p>	<p>資料7ページの政策、施策、基本事業の本数につきましては、現在の第5次総合計画の本数を参考までに記載しており、新総合計画の内容については、これから検討することになります。</p> <p>また、この度の策定方針(案)に対する市民意見の募集にあたっては、「広報えべつ」や市のホームページで広くお知らせしているところであり、特に「広報えべつ」においては、本体とは別の折込みとすることで、より市民の皆様に注目していただけるような掲載方法としました。</p> <p>その募集期間については、他のパブリックコメント(市民意見募集)と同じく1か月としているところです。</p> <p>新総合計画は平成25年度の策定を予定しておりますので、それまで様々な段階で市民の皆様のご意見を伺うとともに、必要に応じて説明会の開催を検討してまいります。</p>

26	1ページ	2 新しい総合計画の必要性と目的	<p>2. 新しい総合計画の必要性と目的について 25年までの「第5次江別市総合計画」では、「江別の顔づくり事業」が100年に一度の大事業として前市長の下、将来の人口増加を見込んで計画され、この秋には事業の一つであるJR高架事業を予定しています。</p> <p>しかし、計画当初の目論見通りにはなりそうもない厳しい現実を前に、江別市側の発言姿勢もこの頃にあるように、様々な理由を挙げて方向修正をしようとしているように見えます。</p> <p>長期的展望にたった指針がなくては…⇒では第5次総合計画はそれが不十分だったことを認めるのですか？時々の情勢変化に柔軟に対応していく姿勢と仕組みも準備していかなくては…⇒これも上記同様、「第5次総合計画」には欠けていたことを意味していますか？</p> <p>この上記2項目は、今回の「自治基本条例」制定の如何を問わず、現在進行形の「江別の顔づくり事業」に関して、前市長は「市民協働」を掲げながら、実際には計画決定前に市長自ら積極的に事業地域まで出向いて、関係住民と十分時間を掛けて対話をするとか、他の市民に対しても同様に向き合って何故この事業が必要か話し合う機会をつくるべきだったと思います。</p> <p>責任者である市長が、ことばだけ「協働」を繰り返しても意味がありません。更に事前の市民説明会も1回開かれたのみで、その後現在迄開かれていません。これでは「言動不一致」と言われても仕方ないと思います。</p> <p>新総合計画が、「時々の情勢変化に柔軟に対応していく姿勢」と「自治基本条例」の理念に沿って、「市民とともに歩む総合計画に」と言うならば、当然その前に「第5次総合計画」の中身（特に顔づくり事業）についての検証も不可欠と考えます。</p> <p>何故なら、「江別の顔づくり事業」の内容について市民理解は未だに十分とは言えず、しかも3月の「東関東大震災」以降は被災地のみならず、その影響は国・道・江別市にも及び、特に国はGDPの2倍の900兆円を越す負債を抱えた上に、世界的にも先行き非常に厳しい経済見通しであることが連日報道される中で、当然市民の意識も変化し不安を感じている人も多い筈です。たとえこの事業が第5次総合計画で決定され「自治基本条例」制定前であっても、非常事態とも言える状況で果たしてこのまま計画通り進めるべきか否かを、再度市民とともに検証する必要があると考えます。これは、新しい総合計画を策定するに当たって、将来の江別市を考える前提として欠かすことの出来ない重要な課題の一つです。</p>	<p>策定方針（案）の「2新しい総合計画の必要性と目的」にあります「長期的展望にたった指針がなくては…」、「時々の情勢変化に柔軟に対応していく姿勢としくみも準備していかなくては…」という記述については、この文章の前段にありますとおり、人口減少・少子高齢化、経済社会のグローバル化と経済・雇用環境の悪化、安全・安心への関心の高まり、地域主権型社会への移行、環境問題に対する時代の要請、厳しさを増す市の財政運営など、第5次総合計画策定時に比べより大きな課題に対応していかなければならないという総合計画の役割を説明しているもので、第5次総合計画の長期的展望や柔軟性を否定しているものではありません。</p> <p>現在の第5次総合計画については、毎年度、施策達成状況報告書を取りまとめて市民の皆様へ公表しているほか、昨年度より公募委員と有識者委員による行政評価外部評価委員会を設置し、総合計画の施策体系に基づき市役所で行った行政評価に対して評価をいただいておりますので、こうした評価結果をお示ししながら、今後の指針となる新総合計画の策定作業を進めてまいります。</p>
----	------	------------------	---	---

27	2ページ	3 総合計画の現状	<p>(2) これからの総合計画の方向性 この項でもこれまでの総合計画が「右肩上がりの経済成長」を前提に進められてきたことを認め、これからは厳しい財政状況下で「選択」と「集中」の観点から政策の優先度を明らかにすることが求められるとあります。全くその通りであると思います。 しかし、これらの優先度を検討あるいは選択するのは「市民」と「議会」であり、行政はそれを補助する役割であると考えます。 これまでの総合計画の分析（反省も含めた）は、確かにこれまでの計画は、費用対効果と言った重要な判断視点は曖昧なまま、現実離れしたいかにも「絵に描いた理想的なまち」が実現するような錯覚を与えた部分があったと思います。</p> <p>「予め取り組みの手段である事業を固定化することは困難」な状況との判断から、「長期的視点に立っためざす姿」と「その実現に向けた戦略を明確に示すこと」に重きを置く「柔軟性の高い計画作り」が必要とありますが、いずれも抽象的な表現でしかなく、この表現だけでは不十分であり本気度が今一つ感じられません。</p> <p>「これまで以上に市民参加に重点を置いた計画作りが必要」なことは、「自治基本条例」のある無しに関わらず市民の権利として当然なことであって、これまで、例えばまちの将来に関わるような協議会などでも形式的な市民参加が多かったことを認めているようにも見えます。果たしてこの条例によって、「住民が主役のまちづくり」が言葉通り着実に進んでいくかどうかを、しっかり注視していきたいと思います。</p>	<p>今回の総合計画の策定にあたっては、策定方針（案）にあります市民アンケート、各界各層などとの意見交換、（仮称）総合計画策定市民会議、パブリックコメント（市民意見募集）など、江別市自治基本条例の理念に沿って、様々な市民参加の機会を設けて進めてまいります。新総合計画の策定にあたり、いただいたご意見の趣旨につきましては、できる限り対応してまいりたいと考えております。 また、新総合計画の検討の節目ごとに議会へ報告を行い、ご意見を伺いながら策定を進めてまいります。</p>
28	3ページ	4 新しい総合計画の考え方	<p>「第5次総合計画」とは違って、地方自治体の財政運営の厳しい状況を繰り返し述べていますが、将来の江別市が目指すべき方向が、どこの自治体にも共通するような「自らの特色を生かし、知恵を絞り…云々」は既に言われていることです。「戦略性を重視したものになければ」と言いつつ、不透明要素が多い状況下ではと自らのリスクは避けようとする消極的な姿勢に矛盾を感じます。</p>	<p>策定方針（案）の「4 新しい総合計画の考え方」の「自らの特色を生かし、知恵を絞り…」という記述については、ご意見のとおり他の地域で同様の表現が使われている場合もありますが、その特色については地域ごとに違ってくるものと考えておりますので、江別市の特色を生かすような計画づくりを進めてまいりたいと考えております。 また、先行き不透明な社会経済情勢や厳しい財政状況、さらに国の政策の方向性も不透明なことなどから、10年先を見据えた総合計画に今後取り組んでいく事業を記載することは困難と考えており、このため、新総合計画は、まちづくりの将来像や実現に向けた政策の方向性を示す指針として、またその達成状況については施策ごとに設定する指標によって管理していきたいと考えております。</p>
29	3ページ	4 新しい総合計画の考え方	<p>(3) 市民とともに作り育てる計画へ いかにもありそうな表現ですが、これも抽象的で中身が分かりにくいと感じます。過去に私が「市長と市民が対話できる貴重な機会」ととらえて参加した「タウンミーティング」なるものの中身は、予想に反して出席者の殆どが自治会代表者で占められ、事前に決められた議題以外の一般市民からの発言は制限される不自然なものでした。このようなまやかしの市民との協働姿勢ではなく、市長と一般市民が気軽に対話や意見交換もできる場をできるだけ早く、また数多く作ってほしいと思います。</p>	<p>策定方針（案）の「4 新しい総合計画の考え方 (3) 市民とともに作り育てる計画へ」についての具体的な取り組みは「6 計画策定における市民参加」及び「7 計画の推進管理 (3) 推進管理における市民参加」で記述しているところです。 また、この度の市民意見の募集でタウンミーティングについていただいたご意見につきましては、今後検討していきます新総合計画の施策等の参考とさせていただきます。</p>

30	3ページ	4 新しい総合計画の考え方	<p>既に「計画づくりに住民が直接参加」を実践している他都市や、海外の例も是非参考にしその姿勢を見習ってほしいと強く思います。これが、「自らの特色を生かし、知恵を絞り」が抽象的な中身ではなく、市民も納得できる形になっていく第一歩だと思います。そして将来、江別市も住民参加のまちづくりを実践しているモデルの一つとして認められることになることを期待したいと思います。</p> <p>そのために不可欠なことは江別市の積極的な情報公開と情報提供、市民が気軽に参加できる雰囲気作りが必要であり、言葉だけに終わらないように具体的な行動を起こしてほしいと思います。</p> <p>今後総合計画策定に関わる構成員についても市民の目線を重視して、一般公募者の人数や世代のバランスなども柔軟に考えてほしいと思います。</p>	<p>ご意見のとおり、新総合計画の策定にあたっては、他の自治体の事例なども参考としながら取り組んでまいりたいと考えております。</p> <p>また、(仮称)総合計画策定市民会議の委員については、「6 計画策定における市民参加(1)不特定多数の市民の声の把握」で実施します無作為抽出の市民アンケートの際に委員参加の意向を伺い、希望される方の中から委員をお願いしたいと考えております。</p> <p>このことにより、より幅広い市民参加が図られ、また男女比や各年齢階層の偏りが少なくなることから、市全体に近いご意見が得られるものと考えております。</p> <p>また、市民の皆様への情報提供にあたりましては、資料の内容について、より分かりやすいものとしてまいりたいと考えております。</p>
31	4ページ	5 新しい総合計画の構造イメージ	<p>(仮称)未来戦略</p> <p>これは、「時のアセスメント」も想定した提案かと思いますが、今回の意見募集の項目の中に明記されることは、(3)成果指標の設定とも関係して重要な項目であると考えます。</p> <p>更に、現在進行形の「江別の顔づくり事業」について、過去の経緯からも、また今回の(案)の中でも再三使われている厳しい経済状況を踏まえ、子供たちの将来の負担をできるだけ軽減するためにも前市長が繰り返し言われた「身の丈にあった江別市」とはどうあるべきかを、一緒に考えていくことが大事だと思っています。</p> <p>現状認識と将来に対する希望、そして「身の丈に合ったまち」江別はどんな所なのか、また独自の視点や価値観で自慢できるような何かを探して提案してみることは、柔軟な発想が可能な子供たちや、これまで様々な経験を積んだ高齢者の方々の目線だからこそ気付くことなどもある筈です。行政側の努力もまだまだ足りないと感じます。</p> <p>「まちづくり」活性化計画で広くて立派な道路が出来て、新しいビルが建ち並びまちは全国各地に沢山あるでしょう。しかし、その多くは期待通りに賑わっている所は少ない(殆どない)のが現実です。</p> <p>人口減少、少子高齢化が避けられないとしたら、どうすればいいのか？</p> <p>上にも書いたように、広い道路や整った建物が並びだけでは解決できないと思います。むしろもっと人の温もりが身近に感じられるような時間・空間が求められる気がします。</p> <p>パソコン、携帯、ヴァーチャルゲームなど相手が見えないことが当たり前の中で、直に話し合う必要性もないと思う人々が増えているように感じていましたが、3月11日の大震災を機に、日本人の気持ちの変化が現れてきているのではないかと思います。</p> <p>「自分さえ良ければいい」、あるいは「無関心」な人が増えていると言われてきましたが、今回の大災害を目の当たりにして多くの日本人が本来のやさしさや助け合いの気持ちの大切さに改めて気付いたように思います。</p> <p>大都市札幌に隣接した江別市に求められるものは、むしろ幅の広い道路や高いビルなどのハードよりも恵まれた自然の中で、人々がぬくもりと安らぎを感じられるようなソフトの部分ではないかと考えます。この計画策定を前に、今、自分たちの住むまちのことを自分たちで考えていくことが真剣に求められていると思います。</p>	<p>策定方針(案)「5新しい総合計画の構造イメージ」の「(仮称)みらい戦略」については、市政全般に係る「基本構想」の「まちづくり政策」から、選択と集中の観点で重点的な展開が必要な各分野を横断するテーマを設定し、その実現に向けて組織横断的に取り組んでいくこととしていますので、新総合計画において重要な役割を担うものと考えております。</p> <p>市民参加に関するご意見については、策定方針(案)「6 計画策定における市民参加」の取り組み等の参考とさせていただきます。</p>

通番	方針(案)のページ	項目	ご意見を寄せられた方 12 (50歳代、江別地区)	ご意見に対する市の考え方
32		施策等の提案	<p>障がい者の人の就労について 私が知っているところでは、イオン江別店の「江別ときめいく」があります。他には分かりません。もっと雇用の場があってもいいのではと思います。そこで江別は農業がさかんな“市”ですので野菜を加工した工場で働くというのはどうですか？皆が飲める、例えば、とうもろこしから作る「コーン茶」は体にもいいし、甘味料を入れなくてもとうもろこし自身の甘味があるし、香りもいいです。本州には、煎茶やほうじ茶の産地がありますが、江別で摂れる「とうもろこし茶」も産地にしてはどうですか？</p> <p>とうもろこしのヒゲを使ったお茶も韓国にあり、おみやげにティーパックをいただき飲みましたが、甘くておいしかったです。1ℓ用の煮出し用や無農薬のコーン茶もあるようで、どれも体にいいなあと思って飲んでいました。農家の方々と“市”と協力して、江別は土地があるので、工場を建てるとか、いまある所を再利用して、一般の方と障がいのある人と一緒にラインを組み立ててやっていくのはどうですか？資金の一部を寄附でお願いしてもいいと思います。理由がはっきりしていれば協力して下さる方も多いと思います。その時は私にもぜひ参加させていただきたいです。</p>	<p>障がい者の就労支援につきましては、個別の分野計画である「障がい者支援・えべつ21プラン（第3期障がい者福祉計画・第2期障がい福祉計画）」に基づき、関係機関や事業者と連携して進めているところです。</p> <p>いただきましたお茶に関するご意見は、関係部署にご意見をお伝えします。</p>

通番	方針(案)のページ	項目	ご意見を寄せられた方 13 (70歳代、大麻地区)	ご意見に対する市の考え方
33	3ページ	4 新しい総合計画の考え方	1. 江別市自治基本条例第13条(総合計画)は地方自治法の「基本構想」策定義務があるためつくられる「行政にとっての計画」ではなく「市民と共有できる計画」であって欲しいとの願いからもり込まれたものです。しかし、今春の地方自治法の改正により「基本構想」策定義務が撤廃されましたので、変化のスピードが速い現代において新総合計画は期間は概ね5年、将来都市像を設定すると仮定すれば「人が輝く…」という空疎なものではなく、戦略性を重視した具体的なものにしたいと思います。	策定方針(案)の「5 新しい総合計画の構造イメージ(2)(仮称)みらい戦略」にありますとおり、江別市の持つ特性や優位性を生かして、まちの魅力を高めていくことに繋がるテーマを設定し、その実現に向けた組織横断的かつ重点的な施策展開の方向性を示す戦略を市民の皆様と一緒に考えてまいります。
34	3ページ	5 新しい総合計画の構造イメージ	2. 新しい総合計画において「まちづくり政策」は不安です。個別分野計画だけで充分です。(仮称)みらい戦略は財政との整合性を考慮して全部門ではなく、重点的に展開するものに限定します。総合計画の名に値しないのであれば「重点計画」と呼称すればよいと思います。現総合計画の施策04-03「危機管理の強化・充実」は東日本大震災後の現在、インフラ整備を含め「災害対応の強化」と拡充し、戦略プロジェクトとして設定したいと思います。	分野別の個別計画については、現在の第5次総合計画との整合性に配慮し策定されておりますが、こうした個別計画だけでは江別市の市政全般の方向性を示すことができないことから、「まちづくり政策」によって明らかにしたいと考えております。 なお、戦略プロジェクトの内容につきましては、今後市民の皆様と一緒に検討してまいりますので、災害対応の強化に関するご意見は、今後の参考とさせていただきます。
35	4ページ	6 計画策定における市民参加	3. 「無作為抽出によって選ばれた市民」と学識経験者などで構成されるという(仮称)総合計画策定市民会議には反対です。明確な意見を持った市民にも参加の道を開いてください。 又、行政審議会はいつからスタートするのですか?委員中公募の市民は何名を予定しているのですか?(仮称)策定市民会議と行政審議会を当初から一体化して審議できませんか?	(仮称)総合計画策定市民会議の委員については、「6 計画策定における市民参加(1)不特定多数の市民の声の把握」で実施します無作為抽出の市民アンケートの際に委員参加の意向を伺い、希望される方の中から委員をお願いしたいと考えております。 この市民会議については、新総合計画策定における市民参加のあり方の一つであり、このほか各界各層、各分野ごとの関係者の方からご意見をお伺いしたり、策定の節目ごとにパブリックコメント(市民意見募集)を実施するなど、節目ごとに市民の皆様からご意見をいただきます。 平成24年度に予定している行政審議会につきましては、専門的な知見からご意見をいただく予定です。
36	4ページ	6 計画策定における市民参加	4. スケジュールの本年度10月~12月「素案」の策定は誰が行うのですか?コンサルタントとかシンクタンクと称する業者も参加するのですか? 学識経験者の助言を受けるにしても新総合計画は市議会議員を含む市民と市職員だけで策定したいと思います。	まちづくり政策、戦略テーマ(素案)につきましては、策定方針(案)にあります市民アンケート、各界各層などとの意見交換、(仮称)総合計画策定市民会議など、江別市自治基本条例の理念に沿って、様々な市民参加の機会を設けて検討を行い、議会のご意見も伺いながら策定を進めてまいります。 コンサルタント等については、この素案の策定には参加しない予定です。
37	4ページ	6 計画策定における市民参加	5. 今回パブリックコメント応募者と市事務局職員とで9月中旬に「策定方針」についての意見交換(ワークショップ)を行い、その上で策定方針を決定されるよう提案します。このワークショップは市民や議員も参加出来るようオープンにします。	パブリックコメント(市民意見募集)応募者を対象としたワークショップを開催するためには、策定方針(案)のパブリックコメントにあわせて開催することを事前に周知する必要がありますので、実施することは困難です。 新総合計画は平成25年度の策定を予定しておりますので、それまで様々な段階で市民の皆様のご意見を伺ってまいります。

通番	方針(案)のページ	項目	ご意見を寄せられた方 14 (60歳代、野幌地区)	ご意見に対する市の考え方
38	4ページ	6 計画策定における市民参加	<p>私は、江別市が「安心、安全、住み続けられる街」にしたいと考えます。江別市が計画策定にあたって、市民の意見を募集していることに敬意を表し、つたない意見ですが述べます。</p> <p>意見の募集は今回1回だけでなくも何度も求めるべきと考えます。市民の中には意見を持ちながら失念された方も想定されます。ぜひ、計画期間内に数度の意見聴取されるよう提案いたします。そして、こまめに市民説明会などを開催すべきと考えます。</p>	<p>今回の新総合計画の策定にあたっては、策定方針(案)にあります市民アンケート、各界各層などとの意見交換、(仮称)総合計画策定市民会議、パブリックコメントなど、江別市自治基本条例の理念に沿って、様々な市民参加の機会を設けてまいります。また、新総合計画の内容につきましては、今後必要に応じて説明会の開催を検討してまいります。</p>
39	-	策定方針(案)全般	<p>新総合計画策定にあたっては、</p> <p>①地方自治法「地方公共団体は、住民の福祉の増進をはかることを基本として…」の理念の実施にこそ力を注ぐべきと考えます。</p>	<p>ご意見のとおり、地方自治法第1条の2「地方公共団体は、住民の福祉の増進を図ることを基本として、地域における行政を自主的かつ総合的に実施する役割を広く担うものとする。」の趣旨を踏まえ、新総合計画を策定してまいります。</p>
40	-	施策等の提案	<p>②日本国憲法にもとづき、児童福祉法、老人福祉法などにのっとり、子ども、障がい者、高齢者に優しい街づくりを進めて頂きたい。「後期高齢者医療制度」は老人福祉法の理念に反するものであり、直ちに廃止すべきもので、市として関係機関に働きかけていただきたい。</p>	<p>この度の市民意見の募集は、新総合計画の策定方針(案)の内容に対する意見募集ですので、子ども、障がい者、高齢者に優しい街づくりについてのご意見につきましては、今後検討していきます新総合計画の施策等の参考とさせていただきますとともに、関係部署にご意見をお伝えします。</p> <p>また、後期高齢者医療制度についてのご意見につきましても、関係部署にご意見をお伝えします。</p>
41	4ページ	6 計画策定における市民参加	<p>③自治会、自治会連合会役員は、自治会員の代表者とはいえません。連合会長が意見を述べることは否定しませんが、連合会や連合会会員の意見聴取はされていず個人の意見です。町内会は様々な職業の方が居り、多様な考えがあります。その意見の統一は自治会の仕事とは考えるべきではありません。</p>	<p>策定方針(案)の「6 計画策定における市民参加」についてのご意見かと思いますが、意見把握にあたっての具体的な手法については今後検討してまいります。</p>
42	-	施策等の提案	<p>新総合計画の内容では、</p> <p>①東日本大震災に遭遇し、市民の生命を大切にするには震災に強い街づくりが大切です。司令塔の市庁舎の耐震化を優先すること、将来を担う児童・生徒の安全を確保することを優先してください。市民の避難所の安全を確保していただきたい。</p> <p>②若者が魅力を感じられる街でなければなりません。江別市は、札幌から近くベットタウンとして発展してきました。通勤圏の特徴を生かすとともに、江別市独自に生活できる仕事の確保(市職員の採用化も大切)をすすめ、結婚・出産、子育て、教育に力をそそぎましょう。</p> <p>③高齢者が生きいきと生活できるよう、寝たきりや引きこもりをなくし、健康増進のため巡回バス、無料パスなどを導入し、施設の利用もしやすくしましょう。</p> <p>④高齢化社会へむけて医療、介護、福祉施設の充実が求められます。この分野は雇用の創出が見込まれます。郊外でなく駅前誘致すべきです。</p> <p>⑤駅前商店街はいずれも寂れています。これは大型店の進出に起因するものですが、「江別の顔づくり事業」では野幌駅前の活性化は見込めないと考えます。場末の飲み屋街みたいになっています。これを変えるには、全国の優れた経験に学ぶ必要があります。道路の拡幅では寂れるばかりです。公設市場は他の自治体では失敗していますが、農産品や陶器などの駅前公設店舗などを考えるべきではないでしょうか。</p> <p>⑥農業の振興にもっと力を入れましょう。光合成なくして人類も動物も存在できません。地産地消が叫ばれています。寒冷地の北海道農業を大切に、ベットタウン農業を大切に、ベットタウン農業の奨励を進めましょう。</p>	<p>安心・安全なまちづくり、若者に魅力のあるまちづくり、高齢者福祉対策、駅前の活性化、そして農業振興など、どれもまちづくりの上で重要な課題であると受け止めております。</p> <p>この度の市民意見の募集でいただいたご意見につきましては、今後検討していきます新総合計画の施策等の参考とさせていただきますとともに、関係部署にご意見をお伝えします。</p>

通番	方針(案)のページ	項目	ご意見を寄せられた方 15 (70歳代、大麻地区)	ご意見に対する市の考え方
43	4ページ	6 計画策定における市民参加	<p>総合計画策定全般に対する意見 総合計画というものは、市民、首長・職員機構、議員、NPO等が知恵を出し合って作成し、実現を目指すものと考えています。 そのプロセスは課題設定 → 政策立案 → 政策決定 → 政策実施 → 政策評価 となります。このうち課題設定と政策評価は市民の意見を聞き、首長・職員機構と議会、が参加して、議論をし優先順位を明確にすることが大切と考えます。政策立案、政策決定は首長と職員機構＋議会が中心です。政策実施は首長・職員機構の責任です。当然NPOも参加します。今回の総合計画は課題設定に当たると思います。したがって、市民、首長・職員機構、議会、が参加した委員会を結成して、十分な討議を行うべきだと考えます。基本構想とした場合江別市の歴史や過去が今の江別市を作っていますが、理想像をもとめられると、現実離れをしたものが出てきてしまい、結局、あれもこれもと云った総花的なものになりうまくいかないと思いました(過去の経験)。</p> <p>委員会は、野幌地区、江別地区、大麻地区の3地区にわけてつくり、それぞれの地区での課題を具体的に出し合い優先順位をつけるのが良いと思います。 なぜなら、江別市は3地区に分かれていて、課題がそれぞれ違っていると思うのです。勿論江別市全般の課題についても各委員会で優先順位をつけます。この時の委員会の構成は市民、議員、職員とします。</p>	<p>今回の新総合計画の策定にあたっては、策定方針(案)にあります市民アンケート、各界各層などとの意見交換、(仮称)総合計画策定市民会議、パブリックコメント(市民意見募集)など、江別市自治基本条例の理念に沿って、様々な市民参加の機会を設けて進めてまいります。また、新総合計画の策定にあたり、いただいたご意見の趣旨につきましては、できる限り対応してまいりたいと考えております。</p>
44	3ページ	5 新しい総合計画の構造イメージ	<p>私が考える総合計画のイメージ 総合計画は市の組織が通常取り組んでいる仕事と異なり、目的を明快に打ち出して取り組む仕事と考えています。したがってプロジェクトチームで取り組むのが良いと考えています。</p> <p>例えば、「病院事業について黒字化を5年以内に実現する」というテーマに取り組むとした場合、本当に江別市が病院事業の主体でいいのか?民間で運営すべきかといった点から検討し、黒字化する必要があるのかといった点からも、掘り下げ、場合によっては外部のコンサルタントも使って、実現を図るわけですが、その場合プロジェクトチームを編成し、責任を持った組織を確立して取り組む必要があります。</p> <p>チームは市長直属の組織として、江別市のあるべき方向に向かって責任を持った組織とする必要があると思います。ルーチンの仕事を行う組織は、当然必要ですがこの組織で、大きなテーマに取り組んだのでは、責任があいまいで、誰も責任をとらない、予算を使うだけの仕事いわゆるお役所仕事から抜け出せないと思います。</p> <p>したがって、総合計画は今後取り組むべきテーマまたは解決すべきテーマをあげ、その実現を図る組織をどう作り上げるかといった、とても大きなテーマと捉える必要があると思います。</p>	<p>新総合計画では、江別市の市政全般の方向性を示すことが求められることから、策定方針(案)の「5 新しい総合計画の構造イメージ (1)基本構想」の「まちづくり政策」によって明らかにしたいと考えております。</p> <p>ご意見のプロジェクト的な取り組みにつきましては、「5 新しい総合計画の構造イメージ (2)(仮称)みらい戦略」により、江別市の持つ特性や優位性を生かして、まちの魅力を高めていくことに繋がるテーマを設定し、その実現に向けた組織横断的かつ重点的な施策展開の方向性を示す戦略として検討してまいりますので、市民の皆様と一緒に考えてまいります。</p>

45	4ページ	6 計画策定における市民参加	<p>市民は希望者の他に、裁判官制度方式で、年齢・性別・地域別等の基準で選び委員を委嘱すべきだと思います。最初に書類で課題を提出してもらい、その後いろいろな意見を持つ人を年齢、男女等を考慮して選定するのが良いと思うのです。更にできれば意見を提出した人を集めて会議を行い意見を更に深めてはいかがでしょうか。</p> <p>市民が少しでも江別市の課題を考え、情報を得て建設的意見を言うことは、市民のレベルを上げると共に、参加する職員のレベルもアップすることにつながるのではないのでしょうか。ある意味とても安い教育機会でもあり、江別市のレベルアップにもつながると思います。</p>	<p>今後予定している（仮称）総合計画策定市民会議の委員については、「6 計画策定における市民参加（1）不特定多数の市民の声の把握」で実施します無作為抽出の市民アンケートの際に委員参加の意向を伺い、希望される方から委員をお願いしたいと考えております。</p> <p>このことにより、より幅広い市民参加が図られ、また男女比や各年齢階層の偏りが少なくなることから、市全体に近いご意見が得られるものと考えております。</p>
46	7ページ	新しい江別市総合計画のイメージ	<p>江別市に目指す姿</p> <p>基本構想はこの図と異なり、基本課題となり優先度を表示しいつまでに何を実現するかを具体的に書きます。私はこの重点課題は3つ以内に絞るべきだと思います。</p> <p>戦略テーマではなく、プロジェクトチームの責任者とメンバーを記入するか、今後随時情報を公開し意見を求めながら進行状況を報告するのが、良いのではないのでしょうか。</p>	<p>先行き不透明な社会経済情勢や厳しい財政状況、さらに国の政策の方向性も不透明なことなどから、10年先を見据えた総合計画に今後取り組んでいく事業を記載することは困難と考えており、このため、新総合計画は、まちづくりの将来像や実現に向けた政策の方向性を示す指針として、その達成状況については施策などに設定する指標によって管理していきたいと考えております。</p>

通番	方針(案)のページ	項目	ご意見を寄せられた方 16 (50歳代、野幌地区)	ご意見に対する市の考え方
47	4ページ	6 計画策定における市民参加	<p>○市民参加について 「自治参加条例」制定後初の総合計画として、例えば、「多くの市民意見を反映させるため」の意見交換会（札幌市が行った1000人ワールドカフェのような）を開催し、「必要な情報提供に努め」るべく市民説明会を開き、出前講座を自治会に呼びかけるなどして、「市民参加を積極的に進める」ために広報・ホームページを活用するなど、あらゆる手段を使って市民参加を推進するべきと考えます。広報については1枚もののチラシではなく、広報の本文中に総合計画の概要などとともに掲載されてしかるべきではないでしょうか。</p>	<p>今回のパブリックコメント(市民意見募集)のほか、策定方針(案)にあります市民アンケート、各界各層などとの意見交換、(仮称)総合計画策定市民会議など、江別市自治基本条例の理念に沿って、様々な市民参加の機会を設けて進めてまいります。</p> <p>この度の策定方針(案)に対する市民意見の募集にあたっては、「広報えべつ」や市のホームページで広くお知らせしているところであり、特に「広報えべつ」においては、本体とは別の折込みとすることで、より市民の皆様に注目していただけるような掲載方法としましたが、その概要については紙面の都合で掲載できませんでした。</p> <p>また、新総合計画の内容につきましては、今後必要に応じて説明会の開催を検討してまいります。</p>
48	3ページ	5 新しい総合計画の構造イメージ	<p>○総合計画の構造について これまでの総合計画では基本計画・実施計画の計画期間を5年としていますが、新しい総合計画の(仮称)みらい戦略の期間を3~4年と短くすることで、社会情勢の変化に対しても柔軟な対応を可能にすることができると考えます。任期が4年の市長の政策を市政に反映しやすくなり、市民が市長を選ぶ指標ともなるでしょう。</p>	<p>策定方針(案)「5 新しい総合計画の構造イメージ(2)(仮称)みらい戦略」については、選択と集中の観点で重点的に展開していくことを考えていますので、その期間は概ね5年程度としていますが、戦略テーマを取り巻く状況の変化や、計画途中における戦略テーマの追加なども想定されることから、期間については柔軟に対応してまいりたいと考えております。</p>
49	4ページ	6 計画策定における市民参加	<p>○計画策定における市民参加について 市民アンケートの実施時には、子どもから高齢者までのあらゆる年代、性別、子どもや配偶者などの同居家族の有無、職業の有無、病気や障がいの有無など、多様な市民の意見を収集できるよう努力してください。</p> <p>各階層、各分野の関係者意見の把握の中に、ぜひ、子どもの声を反映してください。</p> <p>市民会議の開催は、多様な市民が参加できるように会議の曜日、時間帯を工夫し、乳幼児の託児、高齢者や障がいのある方には会場までの移動手段を確保するなど配慮してください。</p> <p>今後のパブリックコメントの実施には、実施の前には会場の場所や時間帯などを工夫して市民説明会を開催することが必要と考えます。また、説明を必要とする市民には、出前講座として最新の情報を提供してください。</p>	<p>今後予定している(仮称)総合計画策定市民会議の委員については、「6 計画策定における市民参加(1)不特定多数の市民の声の把握」で実施します無作為抽出の市民アンケートの際に委員参加の意向を伺い、希望される方から委員をお願いしたいと考えております。</p> <p>このことにより、より幅広い市民参加が図られ、また男女比や各年齢階層の偏りが少なくなることから、市全体の平均的意見に近いご意見が得られるものと考えております。</p> <p>また、市民会議の開催にあたっては、参加される方のご意見を伺い、なるべくご負担が少ないように配慮いたします。</p> <p>さらに、各界各層などとの意見交換や、パブリックコメント(市民意見募集)など、江別市自治基本条例の理念に沿って様々な市民参加の機会を設けてまいります。また、新総合計画の内容につきましては、今後必要に応じて説明会の開催を検討してまいります。</p>

通番	方針(案)のページ	項目	ご意見を寄せられた方 17 (50歳代、野幌地区)	ご意見に対する市の考え方
50	-	策定方針(案)全般	<p>1. 総合計画とは「人が輝やくまちづくり」以外、市が何考えているのかみえてきません。自治基本条例の紹介が挿入される前に、今も進行中の「第5次江別市総合計画」がどういうものか？7ページにあるピラミッド型の138本計画をかいつまんでもいいからおさらいの積みりで市民にわかりやすく報告すべきでありました。これは市民に具体的な意見をさくのなら尚のことです。「過去の検証なくして未来なし」ではありませんか？</p>	<p>この度の市民意見の募集は、新総合計画をどのような形とするのか、またどのように策定を進めていくのかという策定方針(案)に対する意見募集ですので、ご意見にありますが第5次総合計画の内容については記載しませんでした。今後、新総合計画の内容に対する意見募集の際にはお示しいたします。</p>
51	4ページ	6 計画策定における市民参加	<p>2. 今後、数々の策の優先度をきわめていくのは当然ですが、ここで事業仕分けに市民も入りオープンに論議を尽くしていく作業が必要です。様々な角度からチェックをしていくためにも費用対効果分析や環境への負荷は？とか住民への共益度を計るなど諸々です。世の会社経営にみるような成果主義、効率、効果を急ぐあまりに、市にとって留意すべきは共生理念掲げるように誰もが人として生きていけるよう弱者を見捨てない視点を守る姿勢が大切だと考えます。</p> <p>3. 「戦略を明確に示すことに重きを置く柔軟性の高い計画づくりが必要」とあるがいかに抽象的すぎます。善き解釈をすれば決まったことを着々とやることに固執せず、守りから市民の前に胸ひらき話を重ねながら見直し、縮小、撤回も視野に柔軟に考えていく…ということなのでしょうか？ならば、とりわけ巨額の顔づくり事業の中でも街路事業や区画整理事業は今後の経済状況にも大きくのしかかってくるだけに市は市民を前に言及する必要があると考えます。市民意見を聞きっぱなしではなく、直接、地権者に限らず広く市民に説明し声を聴くことなど井戸端風セッティングでもよし、はなしあう、共に考えていくといった地道な作業の積み重ねから市民参画、市民協働が育まれてくると思います。</p>	<p>今回の新総合計画の策定にあたっては、策定方針(案)にあります市民アンケート、各界各層などとの意見交換、(仮称)総合計画策定市民会議、パブリックコメント(市民意見募集)など、江別市自治基本条例の理念に沿って、様々な市民参加の機会を設けて進めてまいります。また、新総合計画の策定にあたり、いただいたご意見の趣旨につきましては、できる限り対応してまいりたいと考えております。</p> <p>現在の第5次総合計画については、毎年度、施策達成状況報告書を取りまとめて市民の皆様へ公表しているほか、昨年度より公募委員と有識者委員による行政評価外部評価委員会を設置し、総合計画の施策体系に基づき市役所で行った行政評価に対して評価をいただいておりますので、こうした評価結果をお示ししながら、今後の指針となる新総合計画の策定作業を進めてまいります。</p>
52	3ページ	5 新しい総合計画の構造イメージ	<p>4. 仮称の「みらい戦略」プロジェクトについて これからは地方分権の時代、人口もへる、さあ生きのりをかけた競争の時代だとばかりに私たち市民をかきたてて緊迫感をもたせて考えようというねらいかもしれませんが、「戦略」とは元々戦争用語からきていて、サテ私達は一体、何と闘うのか？共生の願いと相反してます。言葉で過剰反発しているわけではありません。ものものしすぎて考えることが怖気まず。たかがことばされどことばも大きいです。希望がもて誰にも平易でストーンと胸におちることばを工夫して下さい(例えば計画・プランでは駄目なのですか?)柔軟に考えていく方向性を示しているのですから検討願います。</p>	<p>ご指摘いただいた「戦略」という表現につきましては、民間企業における「経営戦略」や、国の「国家戦略室」などで通常で使用されており、より積極的に、重点的に施策を押し進める意味で使用しています。</p> <p>現段階では、仮称としておりますので、今後市民の皆様と一緒にプロジェクトの内容と合わせて考えてまいります。</p>

53	-	施策等の提案	<p>5. 環境政策について</p> <p>3. 11の原発震災は日本はおろかこの地球全体がおびやかされていくといふとんでもない未来を私たちは背負ってしまったわけですが、きわめて深刻なツケは経済面や生活のあらゆる面に未代まで心身におしかかってきます。</p> <p>先日、新聞報道で道内の町が原発を必要としないまちづくりを目指す条例制定を直接請求する市民活動を始めたとありました。原発停止、廃炉は元より節電意識を高め再生可能なエネルギー導入を国や道に求める市民からの申し立ては多大なリスクを避け同様の願いをもつ江別市民の一人としても他人事ではありません。ますます命をつなぐ「食」の分野が「水」と共に生きる源、地球資源として重要になってきます。せめて食の宝庫、北海道に在って私たちは江別という農産物にも恵まれた土地環境を守り地産地消を更に押しすすめるべく知恵を出していきたいものです。</p> <p>それが外部に依存しない自立へのプロジェクトとしていずれはつながっていくからです。生産の拠点をふやし、地場のものを販売、加工し流通、消費と研究を重ねながら食のマルシェ、他にない個性で市場づくりなど積極的に追及して様々な仕事を創造、実践していく過程に財政援助も当然、おしませ、雇用の場づくりが可能になり老若男女の生きがいに近づけば人口減の流出にも歯どめかかる一助になると思うのです。江別は緑と複数の大学にも恵まれているのですからその条件を最大限活かしながら自然エネルギー開拓の人材シンクタンク構想を高められたら若い人も留まるのではと期待します。</p> <p>今や形を成してつくられてきたモノが自然の猛威と人間のつくりだした原発により、いとも簡単に崩壊してしまうあり様にモノのはかなさと私たちの価値観・文明観が根元から見直してしまう時代にいやでも入ってきました。</p> <p>クルマ社会の利便性追求はまだしばらく続くかもしれませんがやがてくるであろうその先を見こした洞察とそのための準備が必要と考えます。</p> <p>これ以上環境に負荷をかけない有効活用としてカーシェア、サイクルシェア事業なども結構ですが多大なおカネを使って道路をつくる経済効果が本当に住民の益につながってゆくの？市も市民も考え直して遅くはないのです。</p> <p>やたらに大きな借金せず死を迎えるその時まで、あー、江別に住んでてよかったなあと思えるまちづくりであってほしいのです。</p>	<p>環境政策についての取り組みにつきましては、江別市の重要な課題であると考えております。</p> <p>この度の市民意見の募集でいただいたご意見につきましては、今後検討していきます新総合計画の施策等の参考とさせていただきますとともに、関係部署にご意見をお伝えします。</p>
54	4ページ	6 計画策定における市民参加	<p>6. 市民の意見募集が1ヶ月の期間とは市にとりましてはいつもながらの予定スケジュールであります。しかし、総合計画とはまちの将来像を示すまちづくりの大事な基本であるだけに、市民に広く知らせて意見を聞くのであれば型通りに決めた1ヶ月はあまりにも短期すぎます。情報公開の不作為になりかねず市民はじっくり考える時間を奪われます。期間延長の検討と周知徹底の努力をしてください。ちなみに他市の同様な総合計画策定のよびかけ見る機会がありました。イラストや体系図もみやすく文書表現もいかに市民に伝えようとするかの表現工夫が随所に見受けられました。公僕としての意識改革は市も必要ではないかと思えます。</p>	<p>この度の策定方針（案）に対する市民意見の募集にあたっては、「広報えべつ」や市のホームページで広くお知らせしているところであり、特に「広報えべつ」においては、本体とは別の折込みとすることで、より市民の皆様にご注目していただけるような掲載方法としました。</p> <p>その募集期間については、他のパブリックコメント（市民意見募集）と同じく1か月としているところです。</p> <p>新総合計画は平成25年度の策定を予定しておりますので、それまで様々な段階で市民の皆様のご意見を伺ってまいります。</p> <p>また、市民の皆様への情報提供にあたりましては、資料の内容について、より分かりやすいものとしてまいりたいと考えております。</p>

通番	方針(案)のページ	項目	ご意見を寄せられた方 18 (40歳代、野幌地区)	ご意見に対する市の考え方
55	7ページ	新しい江別市総合計画のイメージ	<ul style="list-style-type: none"> 新しい江別市総合計画のイメージが表になって記載されていますが、全体的にわかりにくい。一ヶ所でもいいから市民向けに説明会を開いてほしい 	<p>ご意見のとおり、今後、新総合計画策定にあたって市民参加をいただく際にお示しする資料や説明については、より分かりやすいものとしてまいりたいと考えております。</p> <p>また、新総合計画の内容につきましては、今後必要に応じて説明会の開催を検討してまいります。</p>
56	4ページ	6 計画策定における市民参加	<ul style="list-style-type: none"> 市民参加について 子供の参加も盛り込んでほしい 	<p>子どもの市民参加につきましては、今後若年層からもまちづくりに関するご意見をいただく予定です。</p>

通番	方針(案)のページ	項目	ご意見を寄せられた方 19 (40歳代、野幌地区)	ご意見に対する市の考え方
57	—	施策等の提案	<p>江別に引越しし、8年になりますが、札幌の住宅街の公園に比べると遊んでいる子どもが少ないと思います。どうしてなのか？わかりませんが、遊具が札幌の方が充実しているのも理由の一つなのかなと思ったり。魅力的な公園づくりもお願いしたいです。</p> <p>児童会館も札幌のように誰でも利用できる(小さい子から大きい子)ものがあたら異年齢の子ども同士のかかわりもできていいかと思います。不信者もいる時代、指導員の方もいるので安心です。</p> <p>市民参加については年代、性別等をバランスよく構成されると良いと思います。子どもたちの意見も取入れる機会もあると、もっとよいまちづくりになるのではと、思います。</p> <p>江別は住みやすいので、よい方向に進む事願っています。</p> <p>計画策定方針(案)読ませていただきましたが、私にはわかりにくく感じました。</p>	<p>魅力的な公園づくり、児童館のあり方につきましては、今後検討していきます新総合計画の施策等の参考とさせていただきますとともに、関係部署にご意見をお伝えします。</p> <p>ご意見のとおり、市民参加につきましては、市民アンケートや(仮称)総合計画策定市民会議の実施にあたり、性別、世代、居住地域などのバランスを考慮して実施したいと考えております。</p> <p>また、今後、市民の皆様への情報提供にあたりましては、資料の内容について、より分かりやすいものとしてまいりたいと考えております。</p>